

HIFU・MFU+RFによる治療を受けられる方へ 説明・同意書

私は患者 _____ 殿に対して、下記手術の必要性、危険性、及び合併症などについて説明しました。

1. 施術内容：

RFとは高周波を照射することで立体的にまんべんなく熱を与える治療法です。熱を与えられた組織はタンパク質が変性し縮むため、うまく照射することでリフトアップ効果や小顔効果を得ることができます。

これに対し HIFUとは超音波を、焦点を絞って照射することで点状に熱エネルギーを与える治療法です。エネルギーが真皮や筋肉の層へピンポイントで届くため、より高い治療効果を得ることができます。また、真皮層へのピンポイント照射はコラーゲンを増加させる効果もあるため、肌にハリが出て小じわも改善します。さらに脂肪層に集中してエネルギーを加えることで脂肪を縮小させることもできます。

MFUはHIFUに比べさらに焦点を絞った照射を行うことで、低出力の超音波でありながら同等の熱エネルギーを与えることのできる最先端の治療法です。低エネルギーでの治療を行うことができるため副作用が少なく、従来は避ける必要があった目の周囲へも安全に超音波を照射できます。

これら3種類の熱治療を組み合わせることで、三次元的にエネルギーを与えることが可能となり、効果的なたるみ治療を行うことができます。

2. 治療が受けられない方：

下記の病気や症状がある方は治療を受けられない場合があります。

- 肌のたるみが殆どない方、極めて深いシワの方
 - 全身、または施術部分に腫瘍がある方
 - 施術部分に腫れ、感染症、炎症のある方
 - 治療部位に移植や挿入術をしている方
 - 出血性疾患を発症されている方
 - ステロイド治療をしている方
 - ペースメーカー、金の糸や体内埋込式徐細動器など体内に金属類を埋め込んでいる方
- ※アプルス、ハッピー&ホワイトリフト、歯のインプラント、金歯などは大丈夫です。

3. 術後経過：

HIFUは1回の治療後に効果を確認することができる場合が多いですが、効果は永続的なものではありません。定期的に治療を受ける必要があります。

メイクは治療後すぐに可能です。入浴やシャワーも問題ありません、

2日～2週間ほど(個人差があります)、治療後に筋肉痛のような違和感が残る場合があります。

数日～1ヶ月ほど(個人差があります)、治療後にミミズ腫れのような硬結が生じる場合があります。

施術間隔は3ヶ月～半年後が目安になります。

4. その他：この同意書の内容や医師の説明に分からないことや、気になることがありましたら、お聞き下さい。

説明医師 津田達也 印

私は、上記内容の説明を医師から受け、麻酔・手術・検査が行われることに同意します。

なお、この手術・検査実施中に、緊急処置が必要となった場合には、その処置を受けることについても同意します。

年 月 日

患者氏名 _____ 印
親族または代理者氏名 _____ 印 (続柄 _____)